

開講日	2017年秋期 木曜日 18:30(出発時間)~20:00(予定)	講義場所 受講資格	病院西棟1階 臨床シミュレーションセンター (実習あり)	定員	30名程度
コースディレクター (ツアーコンダクター)CD	名古屋市立大学大学院医学研究科・高度医療教育研究センター・産科婦人科学 教授 尾崎康彦				

科目概要 および 期待される 成果	【概要】分娩は“十人十色”ですが、共通する願いは一つ。それは“安全なお産”です。少子化の進む日本でもハイリスク分娩は確実に増加しています。またひとつひとつの妊娠や分娩に関わる医療も、常に進化しより濃厚なものになってきています。世界に誇る高い日本の周産期医療レベルを維持するため分娩に携わる医師、助産師、看護師、救急救命士や薬剤師らによりハイレベルの知識と技術を身につけ“チーム医療”を構築することが重要です。今回初めてツアーに参加される方や更なる“極み”や“深み”や“高み”を追求したい“常に突き進む”！“リピーターの方々にもきっと満足していただけますよう、今年度は“ここでしか言えない、後世に伝えたい症例(本当にあった恐いお話)”を随所に織り込みながらストーリーを展開させます。日常の周産期現場のライブ感溢れる「Birth Tour 2017 -安全なお産をめぐる冒険-」へようこそ。物語を完成させるのは貴方です！今年もスタッフ一同、新企画を準備して皆様のご参加をお待ちしております。 【期待される成果】日本は依然として深刻な産婦人科医師や助産師などの産科プロバイダー不足の状態です。30歳代までの産婦人科医師の約70%が女性医師であり、出産や育児によって休業した医師や助産師の現場復帰をサポートすることが今後の日本の周産期医療を支えるために重要です。最新の周産期医療を学び、自信を持って即戦力としての現場復帰を支援することを目標とします。また、助産師や看護師が超音波検査や分娩監視装置を学ぶことで不足する産科医と協力しサポートし合うことができます。院内助産所(パースセンター)の開設を促進したり、さらに初期研修以降産科を学ぶ機会の少なかった医師や救急救命士が妊婦を診察するケースにおいて役立つ知識や技術を習得することができます。周産期医療従事者の“サロン”的な場を提供します。このツアーを切り口に、さらなる周産期教育のコミュニティが“時空を越えて”形成されています。				
目標とする 資格	将来NCPR(新生児蘇生法:日本周産期・新生児医学会)やBLSO(Basic)・ALSO(Advanced Life Support in Obstetrics) Japanなどの講習会を受講し資格の取得を目指す方や振り返りをしたい方に役立つ内容を盛り込んでいます。例年お馴染みの「見切り発車オーライ!」です。ツアープラン、オプションツアーやパースプランは予告なく変更される場合がありますのでご了承下さい。尚、開始時間は集合時間ではありません。出発時間は厳守です。				

サブカテゴリ	No	タイトル	講義概要	開講日	講師(所属)
L-1・D-1	1	Birth Tour - DEPARTURE - “チーム STEPPS”始動!	“おめでたですよ!”の歡喜の瞬間。喜びと不安の中で、未知なる冒険の始まりです。“安全なお産”を目指して、我々も十月十日の旅の準備をしましょう。頼れる伴走者として、そしてキーワードは「チームSTEPPS」。これが流行りのステップです。さあ医療チームとしての共通言語、メンタルモデルを共有しましょう!	9月7日	教授 尾崎 康彦(実務家教員) 名古屋市立大学大学院医学研究科 高度医療教育研究センター(産科婦人科) 助産師 (2名:未定) 名古屋市立大学病院 8階北病棟
L-2	2	赤ちゃんが見える “超音波診断法最新情報”	1980年代半ば以降、超音波断層法によりブラックボックスに光が射し込みました。妊娠初期から分娩まで、妊婦健診に必要な超音波検査法について紹介します。「形や大きさだけでなく機能まで見えるんだ!」って話、聴きたい?	9月14日	非常勤医師 熊谷 恭子(実務家教員) 名古屋市立大学大学院医学研究科 産科婦人科学
S-1	3	超音波断層検査法 “レッツ・ハンスオン!”	シミュレーターを用いて超音波検査法の理解を深めます。実際に「出来る!」を目標にしましょう。今年も「子供の使いいじゃあないんだからさあ!」というヤル気の声に応えます。本物の超音波装置を用意します。基礎力をここで一気に先のレベルへ進めましょう。もう貴方は明日からの助産師外来が待ちきれません。	9月21日	講師 片野 江江(実務家教員) 名古屋市立大学大学院医学研究科臨床遺伝部 非常勤医師 熊谷 恭子(実務家教員) 名古屋市立大学大学院医学研究科産科婦人科学 助産師 (3名:未定) 名古屋市立大学病院 8北病棟
L-3	4	妊婦さん・授乳婦さんの 正しい薬剤の使い方 “お薬のプロからの伝言”	薬剤は胎盤を通過して胎児に移行します。おっぱいに出てくるお薬もあります。大切な赤ちゃんを守る為に、エビデンスに基づいた薬の正しい知識を学びましょう。専門家のお話ですから協力は無し、「XXXセンターのホームページを見て下さい。」などと、もうごまかしは出来ません。	9月28日	薬剤師 朝岡 みなみ 名古屋市立大学病院 薬剤部
L-4	5	陣痛の魔術師 “切迫早産・陣痛誘発最前線”	目的地到着予定時刻は37週0日から41週6日までの5週間です。早くても遅くてもそれはハイリスクです。その為に陣痛を調整するナビゲーションを搭載します。システムは常にバージョンアップされています。世界中の最新の方法を紹介します。コックピットにはMRさんは絶対入室禁止です。“今知ったかないとかかりやばい、◎の話”って知ってる?	10月5日	教授 尾崎 康彦(実務家教員) 名古屋市立大学大学院医学研究科 高度医療教育研究センター(産科婦人科)
L-5	6	“いい感じ(well-being)”を 目指して:胎児・胎盤機能検査	胎児の“元氣”を把握するための検査方法を紹介いたします。特に最近クライテリアがバージョンアップされ、にわかに議論の活発な胎児心拍数モニタリング法を先取りします。胎児機能検査は超音波と分娩監視装置だけではありません。温故知新。懐かしい方法も再認識します。	10月12日	教授 尾崎 康彦(実務家教員) 名古屋市立大学大学院医学研究科 高度医療教育研究センター(産科婦人科)
【新企画-1】 L-6・D-2	7	知っているに役に立つ “コーチングの使い方”	この学び直し講座に出席している人は病院内で指導的立場になっている人が多いはず。お産のふり返りや日々の業務指導など、相手の可能性を引き出す対応はできていますか?「人の目標達成を支援するためのツールとしてコーチングの使い方、考え方を学んでみましょう。」	10月19日	産科部長 早川 博生(実務家教員) あいこ小児保健医療総合センター(産科)
L-7	8	ダブルフューチャープログラム 1 ①最強の妊婦ケアとは? ②“黙る子も啼く”新生児蘇生法	①「いざという時に、実際に頼りになるのは助産師さん・看護師さんですよ。」と、賢い妊婦さんは既に気づいています。“卵”から“産声”までをサポートする、不妊症看護認定看護師というキャリアを紹介します。 ②2015年に改訂された最新の新生児蘇生法も学びましょう。	10月26日	①助産師 若林加菜子 名古屋市立大学病院 8北病棟 ②講師 加藤 文典(実務家教員) 名古屋市立大学大学院医学研究科 新生児・小児医学
S-2	9	新生児蘇生法 “シミュレーション編”	講義で学んだ最新の“児受け”をNCPRマスターとスーパー助産師が優しく手ほどきします。新生児蘇生法インストラクターが正しい蘇生法を指導します。いまだに“頭が出たらすぐ鼻から”吸っていませんか?逆さずりは新生児虐待です。	11月2日	講師 加藤 文典(実務家教員) 名古屋市立大学大学院医学研究科 新生児・小児医学 助産師 (5名:未定) 名古屋市立大学病院 8北病棟
【新企画-2】 L-8	10	ダブルフューチャープログラム 2 ①第3回ALSO-Japan学術集会 最優秀演題受賞記念セミナー ②妊娠・出産における心のケア	①愛知県内の救急救命士に対する病院前分娩再教育講習会の開催効果の検討 ②一人の女性が妊娠出産を通じて体験する人生のプロセスと、支援が必要なメンタルヘルスの問題を考えていきましょう。	11月9日	①助産師 太田優美 名古屋市立大学病院 8北病棟 ②臨床心理士 三木有希 名古屋市立大学病院 不育・不妊センター
S-3	11	異常分娩う “骨盤位分娩・吸引鉗子分娩編”	骨盤位分娩介助術、鉗子・吸引分娩術をシミュレーターを用いて学びます。急変に対応し緊急帝王切開術への判断も養います。レジェンドのディープな“匠の技”に遭遇できるかも知れません。もしかして「自分には関係のないことだ。」なんて思っくんじゃないの?	11月16日	教授 尾崎 康彦(実務家教員) 名古屋市立大学大学院医学研究科 高度医療教育研究センター(産科婦人科)
D-3	12	苦いカルテ “後世に伝える症例” (症例検討・ディベート)	命を預かる者として「善戦した。しかし全滅した。」などは決して許される事ではありません。何故そうなったのか?どこにポイント・オブ・リターンがあったのか?再び遭遇した時にどう対処するのか?胸にしまったカルテの封印を敢えて解き、黙ってあの世に持っていく行けない“REAL”な思いを伝えます。昨年度好評のプログラムの続編です。	11月30日	教授 尾崎 康彦(実務家教員) 名古屋市立大学大学院医学研究科 高度医療教育研究センター(産科婦人科) &チーム“学びなおし・レジェンド”
【新企画-3】 L-9	13	赤ちゃんが生まれた後も危険がいっぱい “分娩後の異常にもご用心”	“赤ちゃんが生まれました! おめでとうございます!!”妊婦さんや家族の安堵の表情にホッと安心のはずが、…実は母体死亡の約40%は胎児娩出後に起こっています。大量出血や血栓症など危険がいっぱい。そんな異常に最初気づけるのは皆さんです!	12月7日	講師 菊地 範彦(実務家教員) 信州大学 院内助産リーダー養成コース 産婦人科 信州大学 院内助産リーダー養成コース
S-4	14	CSC(臨床シミュレーション センター)スタンプラリー	名古屋市立大学の臨床シミュレーションセンターは世界最高クラスのシミュレーターを配して、2011年春にオープンしました。常にバージョンアップし進化している。最新の周産期・新生児シミュレーターを独り占めすれば、学んだスキルは血となり肉となるでしょう。	12月14日	教授 尾崎 康彦(実務家教員) 高度医療教育研究センター(産科婦人科) 医師 (未定) 名古屋市立大学大学院医学研究科産科婦人科学 助産師 (3名:未定) 名古屋市立大学病院 8北病棟
L-10	15	Birth Tour - ARRIVAL - “誕生 Live 2017”	“おべ出し”、“児受け”や“お迎え”で今まで見ることの出来なかった帝王切開を動画を供覧し、術中のチェックポイントを解説します。意外に知られていない苦労や工夫を垣間見られます。貴方は既にハイリスク分娩に対して“安全なお産”をサポートできています。Birth Tourを振り返りながら、誕生の喜びをかみしめましょう。“新たな旅”に向かって!	12月21日	教授 尾崎 康彦(実務家教員) 名古屋市立大学大学院医学研究科 高度医療教育研究センター(産科婦人科)

S:シミュレーション(実習)形式 L:講義形式 D:双方向議論形式